

うちとこのぎかい



めいわ議会だより



CONTENTS

- P.2 一般質問
- P.7 その後どうなった
- P.8 キラッと輝く人たち



視 察 報 告

令和元年10月11日、岐阜県笠松町と三重県東員町において、部長制について視察研修を行いました。両町とも議長・副議長・議会事務局の皆さんに丁寧にご説明などを受けました。質問等活発に飛び交い、貴重なご意見等お聞かせいただきました。関係各位に感謝申し上げます。

● 議会視察研修 ～部長制について～

岐阜県笠松町

岐阜県笠松町は人口約22,000人、面積は10.36Km²（明和町＝人口約23,000人、面積は41.04 Km²）。平成13年度より部長制度を導入され4部10課で機構がスタート、現在6部11課で運営されております。



笠松町にて



東員町にて

三重県東員町

三重県東員町は人口約25,000人、面積は22.68Km²。こちらは、昭和57年から部長制を実施し、令和元年度に部長制を廃止されました。

一 般 質 問

12月議会的一般質問は、12月17日に行われました。



江 京子 議員

Q 子どもの居場所づくりの取り組みは

A 様々な居場所づくりをすすめたい

質 問 ①子どもは地域全体で育てていくべきだと思うが、子どもの学校生活以外の居場所づくりの取り組みはどのようなものがあるのか。②中学生を対象とした居場所「学びの里」の利用人数・運営方法について伺う。③地域の子どもは地域で育てるという中で、町長の公約である「子ども食堂」。貧困対策ではなく居場所づくりとしてのお考えは。

答 え ①子どもの学校生活以外の居場所について、民間委託により行っている「放課後児童クラブ」及び、地域の方々のサポートや大学生の協力のもと各小学校の教室等を活用して「放課後こども教室」を行っている。②中学生を対象とした「学びの里」については、地域の方々のサポートと大学生、社会福祉協議会に運営をお願いし、生徒58人が利用をしている。③地域の様々な世代の方が交流し地域ぐるみで子どもたちの育ちを支援する場、またシニア世代の方々が活躍できる場として「子ども食堂」の取り組みが広がってほしい。何より、子どもたちが安心して過ごし、豊かな体験ができる、家庭や学校とはまた違った居場所になればと思う。この取り組みが地域への関心呼び戻し、住民同士の助け合いを促し、今後の地域づくりに大きな意味合いを持ってくるとは思っていないかと考えている。



他の質問

・2学期制について



高橋浩司 議員

Q 町の行政運営について

A より良い住民サービスにつなげたい

質問 ①町の組織機構に係る部長制導入を含む機構改革案を町はどう考え、どのように進めていくのか。②職員のマネジメントについて、近年の早期退職者の増加の背景、また「スマート自治体」の取り組みと、男性の育児休暇取得の推進は。また人事評価制度の現状と課題と今後の進め方を問う。

*スマート自治体とは…人口知能等によって自動処理することにより、職員でなければできない業務に注力できる自治体のこと。

答え ①指示命令、連絡体制の強化と円滑化を図るための部長制を導入したい。②終身雇用に対する考え方や職場環境も一つの要因と考える。スマート自治体の取り組みについては、明和町の規模でどの事業で効果があるのか、また費用対効果も含めて今後検討していきたい。男性の育児休暇取得については、可能な限り取得でき

る環境を整備する必要があると考える。人事評価制度については、職員のモチベーション向上を図るうえで評価の公平性を確保しながら人事管理に反映したい。

Q キャッシュレス決済について

A 可能なものから取り組んでいきたい

質問 ①町のキャッシュレス決済の現状と課題、今後の普及推進は。また行政に期待されている役割について問う。②近隣の市町をはじめ全国地方自治体で取り組まれている「キャッシュレス決済によるまちづくり」について、町の現状と今後の考え方について尋ねる。

答え ①町の公共料金等は、導入・運用経費等を考慮の上、可能なものから取り組む。町内事業者には、商工会と連携して周知・啓発をさらに推進する。消費者へは、利活用方法と合わせて、危険性や防止対策などを広報やHP、消費者相談窓口等で周知啓発する。②他市町の先進的な取り組みも参考にしながら、今後のまちづくりを考えていく。



田邊ひとみ 議員

Q 命と健康を守る地域医療のあり方は

A 住み慣れた地域で暮らせるよう努める

質問 ①地域医療構想による病床数の削減や病院の再編・統合についての考えは。②町内の医療体制の充実、災害時の対応等を問う。

答え ①松阪地区医療構想調整会議において、地域の実情をふまえながら、個別の医療提供体制の将来像を見据えて協議が行われるよう要望していきたい。②可能な限り住み慣れた地域で暮らすための地域包括ケアシステムの構築や、災害時に備えた医療体制について、平時から地区医師会や町内の医療機関とより連携が図れるよう取り組みをすすめていく。

他の質問

- 地域包括ケアの現状は
- 災害時の医療体制の充実を

Q より良い国民健康保険の運営について

A 相談支援と連携しながら円滑にすすめていきたい

質問 ①短期保険証の交付をやめて全員に通常の保険証を交付することを求める。②国民健康保険法第44条1項による一部負担金減免に関して、積極的に利用できる規定への変更を図り条例の制定等を行うことを求める。③滞納処分に係るマニュアル作成や研修を行い納税相談における対応に活用することを求める。

答え ①短期保険証の更新時に、生活状況を確認し、無理のないよう納税計画の調整をさせていただいたり、相談支援につなげたりする機会にもなることから、短期保険証の交付は今後も継続していきたい。②一部負担金の減免については、要綱を定めて運用をしている。納税や生活困窮に係る相談などの際に、生活実態を把握し、相談支援と連携しながら総合的な判断により適用を考えていきたい。③滞納者との面談の対応簡易マニュアル及び滞納処分に係る専門書の活用、各種研修会への参加等により、法にのっとった対応はとれていると考える。継続して丁寧な対応を行っていく。



下井清史 議員

Q 小学校区再編について問う

A 幅広く町民のご意見をいただいた上で、円滑にすすめていきたい

質問 ①現在の財政状況を見つつ現状6校区のままではどうか、また2校区案との様々な比較などのシミュレーションはされているのか。②小学校校舎はコミュニティの場、また防災施設としても重要である。津波浸水区域の大淀・下御糸の2校は防災面も考慮し土盛りをして土地を高くした後、安価で丈夫な木造校舎を建設するのも財政難の中での選択肢の一つとしてあると思うがどうか。

答え ①これまで小学校数を検討するにあたり、調査検討業務を行い、様々な観点（通学距離、適正規模、交通障害度、人口動態など）により、1校区から6校区までの評価では、2校もしくは3校が有力となった。その後、有識者による検討委員会や行政における庁内会議において検証した結果、2校区案とした。②子どもたちの安全や安心を前提に校区編制を考えた場合、県

が発表している津波浸水想定区域や地震による液状化現象の想定を鑑み、現在立地している場所での建て替えは想定していません。従って、中学校の第2グラウンドを中心に大淀、下御糸、上御糸の各小学校を統合した校舎を、経費を抑えつつ建設することを考えている。

Q 明和町防災の今後の取り組みについて

A いろいろな分野の相談に応じていきたい

質問 明和町の防災アドバイザーは1人の方をお願いしているが、災害は突発化、多様化しており、今後は様々な見地からの意見も必要になるが他の専門的アドバイザーの参加も考えているのか。

答え 医療に関すること、心のケアに関すること、実際に被災地で活動された方など、いろいろな分野での講師のご要望があれば、ご相談いただければと考えている。

他の質問

- ・今後残る予定の3校舎（大淀・上御糸・下御糸小学校）の役割や維持管理について



中井啓悟 議員

Q 合特法（下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法）に係るし尿処理の取り組みは

A 契約方法の見直し等、今後も工夫していきたい

質問 ①平成27年12月議会で、浄化槽保守点検業務を複数の業者から見積もりをとり価格を下げる取り組みをしていくと町長答弁を頂いたが、その後の取り組みは。②個人住宅の夜間・土日の対応や、し尿処理費用値下げ等をお願いしているが、現状として変わっていない。平成30年3月議会以降の対応の内容は。③明和町合理化計画では、一般廃棄物処理業が縮小しても町民の税金で保証するようにともとれるが、いかななものか。④許可業者を増やして競争原理を働かせた場合の検証はしているのか、また代替業務を縮小する必要があると考えるが、今後の町としての取り組みや考えは。

答え ①随意契約により、契約方法を変更し複数の業者から見積もりを徴取した。今後も見積もり業者を増やすなどを行い、安価で契約できるようにする。②夜間休日の対応は、簡易的なマニュアルを作成した。町民には広報等で周知する。価格については、理事者と許可業者で度重なる協議を実施している。今後の価格についても協議を続ける。③合理化計画は、令和2年で終了する。次期の計画において、下水道計画の見直しを考慮し、見直しを実施する。④下水道計画の見直し、一般廃棄物の処理計画の見直しに伴い、新規参入の許可についても検討をしていきたい。



令和元年第4回定例会が、12月17日から20日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は、下記の通りです。

議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
議案第74号	明和町ふるさと会館の指定管理者の指定	可決
議案第75号	いつきのみや歴史体験館及びいつきのみや地域交流センターの指定管理者の指定	可決
議案第76号	明和町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第77号	明和町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定	可決
議案第78号	明和町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定	可決
議案第79号	明和町森林環境譲与税基金条例の制定	可決
議案第80号	明和町みえ森と緑の県民税市町交付金基金条例の制定	可決
議案第81号	明和町税条例の一部を改正する条例	可決
議案第82号	明和町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第83号	明和町公共下水道の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第84号	明和町津波避難タワーの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第85号	令和元年度明和町一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第86号	令和元年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第87号	令和元年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第88号	令和元年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第89号	令和元年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第90号	令和元年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第91号	令和元年度明和町水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第92号	明和町課設置条例の全部を改正する条例	可決

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名	高橋 浩司	伊豆千夜子	山内 理	阪井 勇男	奥山 幸洋	田邊ひとみ	松本 忍	綿民 和子	樋口 文隆	下井 清史	乾 健郎	江 京子	中井 啓悟	北岡 泰
議案第77号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

委員会レポート

小学校適正配置等調査特別委員会

11/22 12/19

主な内容 ● 小学校区編制の今後について協議

- 令和元年11月22日に明和町小学校区編制にかかる基本計画（案）が提出されました。その主な内容は、義務教育の充実と防災問題、少子化問題、明和町義務教育施設整備検討委員会の経過、校区の統合と町づくり等の計画の趣旨が示されています。特に、小学校区再編制の必要性和計画策定の基本的な考え方及び将来像について書かれています。

また、基本方針と今後の工程についてもまとめられています。この案をもとに町内各地区で説明会が開かれるとのこと。委員からは、「コミュニティ問題」「財政面…PFI方式（公共サービスの提供を民間主導で行う方式）だと、

いつ頃建てられるのか」「河川浸水区域」「防災問題」等についての意見が出ました。

- 令和元年12月19日の委員会では、町の今後10年間の財政推移が提示され、前回の内容も含めて協議されました。「現在の小学校の跡地活用とコミュニティの対応」「小学校再編の考え方と経緯」「小学校区再編制の意見聴取とパブリックコメントの実施」「統合した場合の校舎建設費用と手法」「既設校舎の耐力度調査」「建設予定時期の令和5～6年まで時間がない中で説明会の考え方」「公共施設全体を含めた財政健全化」等についていろいろな意見が出ました。

総務産業常任委員会

12/5

主な内容 ● 「会計年度任用職員」制度

- 地方公務員法及び地方自治法の改正により、「会計年度任用職員」が創設され、現状の「臨時的任用職員」（臨時事務補助員等）及び「特別職非常勤職員」（嘱託職員・非常勤保育士等）の要件が厳格化されることで、ほとんどの職員が移行することになるため、この制度の概要説明がありました。フルタイムとパートタイムの違い、勤務時間、支給される給料・報酬・期末手当など多項目において詳しい説明がありました。①終了間際の来客等で遅くなる場合の勤務扱い②勤務時間や日数を減らすことはないか③この制度によって予算は増えるのか④年齢はどうか等の委員の質問に対しては①正職員に交代②条件は変えないつもり③予算は約3,000万円増加④年齢制限は国からの指針もあり、設けな

いとのことでした。

- 地方創生事業では、令和2年3月7日東京三重テラスで「ふるさとPRイベント」が開催されるとの説明がありました。また、地域おこし協力隊を新規2名募集するとのことでした。地域おこし事業は自立運営してほしいが、どのように考えるかとの委員の質問に、「明和観光商社」は現在、町からの多くの委託事業に取り組んでいる。その中で独自事業にも取り組んでおり将来の自立に向けて進めている、との回答でした。
- 合併処理浄化槽の補助金の変更について説明がありました。浄化槽の機能向上と価格の低下が見られるため、補助金額の減額をすることでした。

教育厚生常任委員会

12/5

主な内容 ● 明和中学校校舎完成式典及び見学会

- 明和中学校建設工事工期延長と完成式典についての報告がありました。委員から工期延長理由への質問や、見学会の日数について要望がありました。
- 令和2年度幼稚園・認定こども園・保育所申込

状況（令和元年10月末日時点）について、総計は946名で昨年より約60名の増になったと説明がありました。委員からは中間報告であるが出来る限り希望に沿えるよう努めることを要望しました。

- イオンモール明和フードコート内の「おいしいキッチン」にて地産品の展示コーナー設置の説明がありました。委員からこれらの地産品販売も合わせて行えるよう要望しました。
- 第8期介護保険事業計画について国の方針が決定してきたので、アンケート調査（3年毎）を実施したい旨の報告がありました。
- 総合グラウンド整備の進捗状況について説明がありました。（進捗率26.7%）
- ふるさと会館・いつきのみや歴史体験館いつきのみや地域交流センター指定管理について説明

がありました。（指定期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで5年間）

- 明和の里指定管理実績及びいつきのみや歴史体験館に関する業務実績、ふるさと会館管理業務実績、総合体育館管理業務実績の各実績報告書（令和元年度7～9月四半期）の報告がありました。
- 令和元年11月14日、明星地内で差別落書きが発見され、町人権問題対策推進本部会議が開催されました。その後の啓発事業について報告がありました。

その後どうなった？



シリーズ
第83回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

- Q 一般質問の主な内容
- A Qに対する答弁の内容
- こうなった 現在の取り組み状況や結果など



平成30年 12月定例議会より



住民の要望を十分に反映した公共交通を作るため、早急な対応を求め、町民バスの改善を求める。

（田邊ひとみ議員）



今後も町民の生活状況、生活実態に即し1人でも多くの方が利用できるように、高齢者や障がい者の方々の利用も視野に入れる。



本年1月1日より、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と、それぞれの同伴者の方（1名）は、町民バスの運賃が無料となった。



歳出の抑制を図るため、下水道事業全般の合理的な見直しを求める。

（高橋浩司議員）



下水道整備全体の今後の方向性について各機関と協議を行い、検討を実施する。



下水道整備事業の見直しのため、令和元年度から近隣市町・県と協議を行っており、具体的な見直し案の策定を現在行っている。

キラッと輝く人たち

「絆を深め楽しい人生を」

齋宮老人会女性友の会

平成13年4月当時の老人会齋宮地区代表（故森本会長）と地区役員（女性：故村野さん）等がこの会を立ち上げていただいて早くも約20年を迎えます。会報1号より毎月一回友の会だよりを発行し240回に至りました。

この会の目標は、高齢になっても自分のことは自分で出来るように、健康維持、親睦、引きこもり防止として楽しい人生を1日でも長く続けられるように第一、二、四土曜日はフラダンス、第三土曜は太極拳、楽器演奏、講



ともに人生を楽しみましょう!!

話、マジック、カラオケ、食事会等皆様の協力で楽しんでいます。フラダンス、カラオケ等は町内外の祭り、発表会、老人ホーム慰問等ボランティア活動をしています。

また、春、秋、気候の良い時期をえらんで日帰り旅行を計画実施しています。

この様な活動に賛同されます方、年齢は問いません。共に人生を楽しんでみませんか。

編集委員より

まだまだ寒い日が続いておりますが、梅のつぼみも膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。

明和中学校も新校舎になり、生徒たちは気持ちも新たに学校生活を送っていることと思います。

また、町は小学校区再編について、今年から各地区へ説明にお伺いしていきます。

大きな過渡期を迎えている明和町ですが、私たち明和町議会においても改選より1年を過ぎ、さらなる改革を進めていかなければなりません。

今後もわかりやすく親しみを持っていただける議会になるためにも、議会だよりをはじめ、様々な工夫を凝らし、町民のみなさまにお伝えして参ります。



議会を見に来ませんか
お待ちしております

一般質問の様子は、2月7日・8日・9日に、松阪ケーブルテレビ明和町行政チャンネルで再放送をご覧いただけます。

議会だより編集特別委員会

委員長：山内 理 副委員長：田邊 ひとみ
委員：高橋 浩司、伊豆 千夜子、樋口 文隆、下井 清史、乾 健郎、江 京子

令和2年 第1回定例議会
3月3日（火）午前9時から
■一般質問は10日、11日を予定しています。
（変更の場合あり）
詳細は、議会事務局までお問い合わせください。